

【ひまわりの種播き】

◆基本

- ・条間80cm、株間50cmで播きます。
- ・「種の大きさの2～3倍の深さ」がどんなものも基本となります。土は軽く押さえて圧着させましょう。
- ひまわりは肥料食いで、5年前は、条間を管理機が入れるぐらいの70cmぐらい株間は30cmにしたところ、畑の両端は片側に何も植わっていないので花が大きくなり中側は両隣と肥料を食い合い花が小さくなってしまったということがあったそうです。
- また、発芽率が大変高いので1粒播きの時もあります、2粒蒔きが無難です。



【補足】

- ・乾燥、脱穀作業がとても大変なので、始めての人は1～2畝がお勧め。
- ・恐らく2ヶ月後に開花しお盆頃まで咲いていると予想されます。
- ・開花後、大体35～40日で収穫時期。例えば8/1が盛りとすると9/10頃が刈り取り時期となります。しかし雨が降ったりと天候次第では大体9月10日～9月20日頃になると予想されます。
- ・ひまわりは東を向いて咲くので、観賞を考えれば畑が西側になる道沿いに播くとひまわりを見ながら歩けるようになります。

【ゴマの種播き】

◆基本

- ・筋蒔きで、条間は70cmぐらい。種播きシーダーがあれば使う。
- ・手播きの場合は種が小さく播いた気にならないので厚播きしてしまうので注意が必要。
- ・手播きの場合、株間は10～15cmぐらいで2～3粒播いて2～3週間後の本葉4～6枚で1回間引く。
- ・間引きをする際はきちんと根もとを抑えてから引き抜く。



【補足】

- ・開花や収穫などはひまわりとほぼ同じ。
- ・ごまは下から順番に花が咲いて下から実が入っていきます。そのため上の方に花が咲いていても下の実が「ピツ」と割れる時に収穫をしてしまいます。そうしないと次々に割れて種がこぼれてしまいます。人によってはどうせ上の花は実が入らないうちに収穫してしまうので、自分の背丈ぐらいになったら摘芯する人もいます。いずれにしても9月に入ったらこまめに様子を見に行く必要があります。
- ・収穫したらハウスや玄関などに立てかけて追熟乾燥させてから逆さにすると、ザア～と種が採れるので、あとは唐箕やふるいできれいに選別します。